



彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部
The Institution of Professional Engineers, Japan

こうほう・Vol.5 2014.12.1

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIP シティ A1-706B
埼玉県支部事務局 TEL & Fax 048-263-0841
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

巻頭言

第2回彩の国産業活性化交流会
CPD 行事計画及び実施報告
平成25年度年次大会報告
地域産業支援活動計画&報告
地域活動計画&報告

目次

埼玉県産業労働部

産業支援課長

地域産業支援委員長

教育推進・CPD委員長

総務企画委員

地域産業支援副委員長

地域委員長

正能 修一

松井 繁

黒澤 兵夫

村山 肇

穴戸 富雄

渡辺 孫也

★ 巻頭言

埼玉県産業労働部産業支援課長 正能 修一



公益社団法人日本技術士会埼玉県支部並びに会員の皆様におかれましては、ますます御活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から会員各位が高度な専門知識と御経験を活かし、産業振興や社会貢献活動など地域経済の発展に大きく貢献されていることに深く敬意を表します。

県内企業を取り巻く状況は、経済のグローバル化、新興国の台頭、急速な少子高齢化の進展など様々な課題が生じています。また、国の経済政策の取組により、経済の好循環がようやく動き始めた一方で、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による民間需要の伸び悩みや、円安による原材料高などの影響も出てきています。県内企業がこのような経済環境の変化に柔軟に対応し、将来にわたって発展していけるように、個々の企業ニーズに対応した支援が必要とされています。

県では、産業振興や雇用創出など、通商産業政策全体に地方が主体的に取り組む「通商産業政策の地方分権化」を推進しています。本年4月からは「先端産業創造プロジェクト」を開始しました。本プロジェクトは、大学・研究機関等の研究成果と県内中小企業の優れた技術等を融合させ、実用化から製品化開発、事業化、県内集積まで

の一貫した支援により、国際競争に勝てる先端産業の育成・集積を目指しています。現在、ナノカーボンの他、蓄電池、航空・宇宙、ロボット、医療イノベーションなど分野別に立ち上げたプロジェクトを進行中です。

公益社団法人日本技術士会埼玉県支部の皆様には、支部発足以来、「技術の力で地域の発展に貢献」をキャッチフレーズに、産業支援機関や県などとも連携しながら、全県各地での技術相談会や彩の国産業活性化交流会等の取組を展開され、本県産業振興の一翼を担っていただいております。

貴支部には1,000名近くの会員が在籍され、地域別の特徴を生かした地域ネットワークの構築を進められていると聞いております。今後ますます、貴支部の皆様が「町の技術屋さん」のような存在として、先端から基盤技術まで幅広く、中小企業・小規模企業の技術力の向上に御協力いただき、本県産業の発展に寄与していただくよう心から期待します。

★ 第2回彩の国産業活性化交流会のご案内

地域産業支援委員長 松井 繁

アベノミクス効果も第2ステージに突入と言われていますが、依然として県内の中小企業では激しい生き残り合戦が続いています。国や地方自治体のきめ細かい中小企業支援の方策により、更に幅広い景気改善効果を期待したい所ですが、企業自らの自助努力によりこの窮状を打破する心構えも必要です。更に、先端技術を自社内に取り込み、技術面、品質面、営業面等において現状を打破した新しい企業展開への脱皮を目指す必要があります。本交流会では、先端技術等に注目し、如何にその技術を自社に導入できるかをテーマに参加企業の方々と共に技術士の専門分野を活かしたディスカッションを行い、中小企業活性化の契機となる事を目的に「第2回彩の国産業活性化交流会」を企画いたしました。詳細は、開催案内が準備でき次第、埼玉県支部HP等でご案内いたします。よろしくお願いたします。

〈開催要領〉

- 1)開催日：平成27年2月3日(火)
- 2)会場：埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)
(埼玉県川口市上青木3-12-18)
- 3)プログラム：a.見学会(10:00~12:00)
『SAITEC 最新試験室等見学』
b.交流会(13:00~17:00)
『講演及びパネルディスカッション』
c.懇親会(17:15~19:00)
『講師を囲んでの懇親・交流会』
- 4)参加費：交流会2,000円(懇親会費は別途)

詳細は、開催案内が準備でき次第、埼玉県支部HP等でご案内いたします。

沢山の方のご参加お待ちしております。

★ 教育推進・CPD委員会報告

教育推進・CPD委員長 黒澤 兵夫

1)理科実験研究小委員会報告

県立教育センター(行田)の理科実験一般公開日

【10月18日(土)10:00~15:00】

参加者からのひとことです。

『楽しい絞り染めで綺麗なハンカチができ、参加者が

「ハンカチ絞り染め」



喜んで理科に興味を持ってもらうことができ、成功であった。また、身近な材料で解剖ができ、おもしろく勉強になった。』

「煮干しの解剖」



2)平成26年12月以降のCPD 予定表

日程	時間	場所	テーマ
12/13(土)	13:30-17:00	産学交流プラザ	「技術者倫理」①「グローバル化と技術者倫理」金沢工業大学 准教授夏目賢一氏、②「グローバル化と技術者」日本ITリテラシー協会会長(前日本技術士会会長)内村好氏(終了後、懇親会予定)

H27.1/10(土)	13:00-17:00	産学交流プラザ	CPD 技術士研究業績発表大会 (5 例) 県庁技術士 2 名・「空間情報」・建設・経営 (終了後、新年会)
2/7 (土)	13:00-17:00	場所未定	新規技術士開業支援セミナー「ベテラン技術士と若手技術士による開業に当たっての心得など」
2月予定	9:30-17:00	場所未定	見学会「自動車工場関係」
3/14 (土)	13:00-17:00	場所未定	平成 27 年度技術士制度説明会

★ 年次大会報告

総務企画委員 村山 肇

平成26年7月26日(土)、新都心ビジネス交流プラザにて、平成26年度埼玉県支部年次大会が会員46名の参加の下、開催されました。CPD講演会と併催して行われ、CPD講演会では、黒澤教育推進・CPD委員長の司会の下、関東経済産業局総合エネルギー広報室調査官 原山堅氏の『経営改善事例について ～環境視点が企業を変革する～』及び、カネパパッケージ株式会社 代表取締役社長 金坂 良一氏の『成功事例発表』の有益なご講演をいただきました。

年次大会では、渡辺支部長の挨拶のあと、各委員長から平成26年度の取り組みについて、説明があり、質疑応答が行われました。その後、今年度の以下の3件の重点活動についての報告があり、活発な質疑応答がありました。

1) 理科実験支援について

黒澤 教育推進・CPD委員長から、同委員会の中に、理科教室小委員会を設置して活動を開始した旨の報告がありました。

2) 企業支援活動について

松井 地域産業支援委員長から、ミラサポの活用や技

術課題相談会活動などの取り組みについて報告がありました。

3) 地域活動について

渡辺 地域委員長から、東部地域小委員会、北部地域小委員会、西部地域小委員会の活動報告と今後の計画について説明がありました。

最後に、阿津沢総務企画委員長から、閉会の挨拶及び新入会員4名の紹介が行われ、各氏から自己紹介があり閉会しました。閉会後の懇親会では、会員相互の交流が行われ懇親を深めました。(下は懇親会後の参加者写真)



★ 地域産業支援委員会活動報告

地域産業支援副委員長 穴戸 富雄

地域産業支援委員会は7月から20名の委員が確定し諸活動を開始しました。本年度から支部に「支援相談会員」を設け、技術士の新規登録・審査・教育を行い、相談員の質・量の向上を進めています。(63名登録) 加えてミラサポ専門家登録を支部で推薦しています。(18名登録: 内新規登録15名)。これら会員数を増加させ、今後の対外支援活動を積極的に推進し、技術士活躍の場を広めていきます。

<委員会活動概況>

- 1) 社会貢献活動 (GR1) : 県内の公的機関 (県・公社・公益財団・研究機関) と連携し社会貢献活動を行う。埼玉県産業労働部 (含むSAITEC)、公社、公益財団、研究機関との連携を検討中。
- 2) 地域産業支援活動 (GR2) : 技術課題相談会実施 (H26年度は3回実施: 49社参加)
 - ①草加(7/16) ②春日部(8/22) ③東松山(10/8)
 - ④川越: 1月、 ⑤浦和: 2月 実施予定)

＜技術課題相談会開催状況＞

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	合計
企業数	32	42	77	56	62	74	51	49	443
開催数	5	2	4	3	4	5	5	3	31

3) 展示会等、技術士活動PR開催 (GR3)

H26年度は3箇所の展示会出展

①埼玉北部地域技術交流会 (11/6 完了)

＜埼玉工業大学：深谷市＞

②コラボさいたま2014 (11/7～9 完了)

＜さいたまスーパーアリーナ＞

③彩の国ビジネスアリーナ2015 (1/28, 29)

＜さいたまスーパーアリーナ＞

展示会を通じて、技術士の活動をPRするとともに

産学官活動（大学・県・市・金融機関）との連携を深め、技術士業務の拡大（地位向上）を図っております。

○対外機関（官・民）からの支部への支援（検討）

依頼が本年度から急増しています。支部としてもこれらのご要望に応える事が、地域社会への貢献と技術士の地位向上に繋がります。そのためには、「支援相談員」を早急に増強する必要がありますので、会員皆様方のご参加をお願いします。

★ 地域委員会活動報告

地域委員長 渡辺 孫也

1) 東部地域小委員会

(埼玉県支部東部地域第3回産業技術講演会)

①見学会 H26年9月10日 参加者：17名

「日本エレベータ製造(株)の見学と小委員会及び懇親会の開催」(越谷コミュニティセンター)

同社の歴史及び主な納入実績をスライド写真で説明を受けたのち、工場見学ツアーを実施しました。地上60mのエレベータ試験塔においてエレベータに試乗し、エレベータの機構構造を見学、更に塔頂踊り場より周囲を眺望しました。埼玉県東部、千葉県北西部、東京都地域が一望にでき、周囲近傍には高層建造物

が無く、参加者一同感嘆

しました。そのあと、第一工場から第六工場迄、全工程の見学と、保全技術者研修場を見学しました。

全国に設置されている同社のエレベータのネット

ワークによる24時間監視保全サービスの遠隔監視センターを兼ねており、大変有効な見学でありました。



2) 北部地域小委員会

①11月6日、埼玉県北部地域技術交流会(於埼玉工業大学)へ参画して技術士会埼玉県支部のPRを行った。

②平成27年1月、小委員会開催

・第11回埼玉県北部地域技術交流会の報告

・平成27年度活動計画策定

(埼玉県北部地域技術交流会)

3) 西部地域小委員会

①27年1月第5回小委員会開催予定

27年度活動計画策定

★ 編集後記

総務企画委員会では、外部の方から記事をお寄せいただくことと検討してまいり、この度、埼玉県産業労働部様をお願いしたところ、快く引き受けて下さいました。今後も日頃お付き合いをさせていただいている行政、公的機関等をお願いしていく所存です。

広報誌に関するご意見や活動情報などごさいまし

たら総務企画委員会までお寄せ下さい。

【総務企画委員長 阿津沢潔】

おくづけ	公益社団法人日本技術士会埼玉県支部こうほう・彩の技術士 第5号
発行年月日	平成26年12月1日発行
発行所	埼玉県支部 e-mail ;saitama@engineer.or.jp
編集	総務企画委員会